



拓 (ひらく)

第143号 2026・5・29

HP : kangodounion.org

Email : hyogounion@k8.dion.ne.jp

関西合同労働組合
教 宣 部

〒653-0021

神戸市長田区梅ヶ香町2-5-2

電話 078-652-8847

アメリカ・トランプ政権はイラン攻撃をやめろ！

イランの小学校を爆撃

アメリカ・トランプ政権は本年1月3日、国際法を無視して、埋蔵量世界一と言われる石油利権獲得のためにベネズエラを軍事攻撃・侵略し、大統領夫妻を拘束しました。

これに続いて2月28日イスラエル・ネタニヤフ政権と共に、国連安保理決議はおろか連邦議会の承認も得ず、宣戦布告すらも行わずイランに対し軍事攻撃を強行しイランの最高指導者ハメネイ師を殺害、さらにイラン南部ホルムズガン州ミナブのシャジャレ・タイエベ女子小学校を授業中にトマホーク巡航ミサイルで爆撃し児童168人を含む少なくとも175人を虐殺しました。



トランプ大統領は当初「イラン軍によるものだ」とごまかそうとし後になって「誤爆だ」居直り正当化しました。

わたしたちはこの二度に渡る国際法を無



視した戦争に怒りを禁じ得ません。そして改めてトランプ・ネタニヤフによる子どもたちの虐殺を激しい怒りを持って弾劾し、犠牲になった人々への哀悼の意を表します。そして一刻も早く戦争をやめさせるための行動に立ち上がります。

トランプ擁護、戦争擁護の高市政権

このイラン攻撃について日本の高市首相は3月2日の衆院予算委員会で、「我が国として法的評価は差し控える」と述べ、事実上アメリカ、イスラエル

を擁護しました。さらに今年3月19日の日米首脳会談で、トランプ大統領に対して「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけだと思う」と語りかけたと報じられていま



す。この戦争で犠牲になったイラン人民のことなど意にも介していない発言です。断じて許せません。物価高騰に苦しむ労働者、市民の生活など一顧だにせず 「台湾有事は日本の存立危機事態」と発言し、九州、南西諸島の軍事要塞化を推進する高市政権は打倒するべきです。

世界各国、日本でも全国で改憲反対、戦争反対のデモ

3月28日、イラン軍事攻撃の開始から1カ月目に当たるこの日全米各地で、強権的な政権運営を進めるトランプ大統領に抗議する「NO KINGS（王はいらない）」と題したデモが行われました。参加者からは、戦争やガソリン価格高騰に抗議する声上がり、主催団体は、計800万人以上が参加し、1日の動員数としては「米史上最大規模」になったと表明しました。（下の写真）



この他にも、イスラエル、イギリス、フランスなどヨーロッパ各国で反戦デモが闘われました。



3月5日エルサレムで行われた反戦デモ



3月6日フランス、パリで行われた反戦デモ

日本でも4月8日国会前3万人（下の写真）をはじめとして、大阪ヨドバシカメラ前3000人、札幌1400人など全国47都道府県150か所以上でオンライン視聴を含め10万人規模のイラン、パレスチナ、ウクライナ反戦、改憲反対デモが闘われました。

戦争を止めることができるのは民衆の力だけです。この流れをさらに大きくしていかなければなりません。トランプ政権は4月8日の停戦合意後もホルムズ海峡でイラン国籍のタンカーを攻撃し、航行不能にしておきながら「停戦合意は有効だ」とうそぶき、攻撃再開をも示唆する発言を行っています。

スペイン、イタリア、フランス政府は「米軍機に対して、自国の基地使用を認めない」「米軍機や関連機への自国領空の通過を認めない」「米軍の対イラン攻撃に軍事的に加わらない」とアメリカ、イスラエルへの戦争協力を拒否しています。トランプ大統領は完全に支持を失いつつあります。

関西合同労働組合は労働者、市民と連帯して戦争に反対し、憲法9条を守る闘いに立ち上がります。共に闘いましょう。



職場からの通信

26春闘総括、各職場報告、兵庫労働局交渉、おおさかユニオンネットワーク春の総行動 兵庫支部・摂津分会

摂津分会は昨年に続き、武庫川ユニオンと共同で2月9日一律2万円の春闘要求を提出し、26春闘をスタートしました。(拓142号既報)



3月27日に第1回団体交渉が開催され、会社側は「3000円～8000円」の幅でベースアップを実施すると回答。3月31日に行われた第2回団体交渉では「ベースアップ8000円」の回答を引き出し妥結の方向で検討していましたが、武庫川ユニオンには1万円の回答が出て妥結したとのことで4月14日第3回団体交渉で「この差は何か？」と会社側に対して質したところ「ベースアップはグループ一律8000円である。2000円は定期昇給相当分ではないか」との回答があり、(現行の賃

金規定では組合員である佐々木は現状より以上の定期昇給は行われな
い)賃上げについては妥結



となりました。人員増要求に対しては「募集はしているが応募がない」との回答。組合掲示板要求に対しては、施設管理権を盾に設置を認めない組合嫌悪の姿勢を崩すことは今回もできませんでした。

5月25日には「基本給×2か月」プラス、「インフレ手当分として一律10万円」の夏季一時金要求書を提出し、夏季一時金闘争を闘います。

大阪支部・梅田運輸倉庫分会

南港職場の非組合労働者からの転勤・乗車換え要請問題で相談。本社人事に組合が改善を申入れ、現場でも分会長が会社とかけあった。

労働条件を落とさず解決を求めている。解決後組合加盟を働きかける。



2024年11月28日ポスコ分会団交後に

大阪支部・ポスコ分会

春季賃上げー3万4000円アップ、一時金今年から5月、8月、12月(従来は年二回、1.5ヶ月くらい)へ各々1.5ヶ月とこちらもアップ改善となった。

おおさかユニオンネットワーク「春の総行動」を闘いました

4月9日、おおさかユニオンネットワークの春闘行動が終日闘われ、関西合同労組からも4人が参加した。



9時からエルおおさかで出発集会が開かれ、ユニオンネットワーク代表の西山さんが「今日一日、元気に闘いましょう」と挨拶し、この日の行動で申し入れる各社の組合員が決意表明した。

9時半から韓国のオプティカルハイテック社で組合員を解雇した日東電工に対する抗議のデモ行進に出発。地下鉄淀屋橋駅近くにある日東電工大阪支社を包囲して「日東電工は話し合いに応じろ」「組合員を職場に戻せ」などと抗議の声をあげた。



デモ終了後、大阪市役所に移動。大阪市にたいして「安心できる介護を！懇談会」と、ユニオンネットワークおおさかの連名

で、介護労働者の待遇改善などを求める要求書を提出した。



その後バスで四ツ橋まで移動。なかまユニオン組合員にパワハラ・セクハラ・支配介入の不当労働行為を行った株式会社奥誠環境商事の社前で抗議の集会。シュプレヒコールをあげ、道行く人にビラをまき、会社に対して抗議申し入れを行った。

午後からの最初に、大阪労働局に対して「最低賃金を今すぐ1500円に」、監督官増員、労働時間規制の強化などを求めて申し入れ行動を行った。

最後に堺市までバスで移動し、組合員2名の不当配転と闘うさかいユニオン・ビーナス分会支援の集会をビーナス本社前の公園で行い、当該からのアピールを受けた。その後、ビーナス本社に入るビルを包囲する抗議デモ。代表団が会社に申し入れを行った。

朝から夕方まで丸一日の行動であったが、約80名の仲間が参加し、おおさかユニオンネットワークの団結力を発揮できたと思う。



3月4日兵庫支部は兵庫労働局との交渉を行いました



2月9日26春闘要求行動にて兵庫労働局に対し、要求書を提出しました。(拓142号既報)要求項目は①最低賃金を今すぐ1500円に、再改定要求②同一労働同一賃金③パワハラ問題④労働基準監督官の人員補充⑤労働時間規制緩和について⑥解雇の金銭解決に断固反対します。の6点。労働局との交渉は3月4日15時30分～17時の約90分間、組合側出席者4名、労働局側出席者は司会者を含め6名でした。

「最低賃金を1500円に」要求について

労働局側の回答「昨年10月4日に発効された兵庫県最低賃金は、過去最大の64円の引き上げとなった。実質賃金が下がっていることは承知している。最低賃金額の決定にあたっては消費者物価指数のみならず労働者の生計費、賃金、企業の賃金支払い能力のデータ三要素を総合的に勘案することとされている。最低賃金の再改定の申し入れについてはこれまで一年の内に再改定の諮問をしたことがない。再改定の申し入れについては本省に報告する」

この回答に対し、組合側から「都道府県労働局長には最低賃金審議会に対して再改定の審議を求めることが法的に認められている。再改定の条件は十分にある」と意見を出しました。

同一労働同一賃金について

「(有期雇用の)更新条件が5年以内となって

いる場合でも、それに対する指導の法的根拠がない、更新条件が5年を超えるようにとの指導は行っていない」「有期雇用労働者の再雇用、労働契約の更新等につき、不当な条件を課しているようなことがあれば、労働局に相談いただきたい」「(偽装請負について)労働省告示第37号に照らし、当局として必要な対応を図る」

この回答に対し、組合側から定年後再雇用の賃金減額が横行して裁判になっている例を取り、「企業側への調査だけでなく、実際に働いている労働者の声を聴いて判断すべき」と意見しました。

パワハラ問題について

「「明るい職場応援団」の啓蒙はあらゆる機会をとらえて行っている」との労働局側の回答に対し、組合側から「パワハラ防止法はあまり機能していないと思う。職場でのパワハラ問題は深刻、もっと啓蒙を強化すべき」と意見しました。

労働基準監督官の人員補充について

「監督官の補充はなされなかった。神戸東署管内に第5方面を新設し業務軽減を図っている」との回答に対し、組合は「現状の監督官の人数では全ての事業所の(次頁に続く)



(

(前頁より続き)監督は不可能、継続して増員を働きかけて欲しい」と意見しました。

労働時間規制緩和について

労働局側の回答、現行労働時間規制について「局独自での見解を回答する立場ではない」労働者代表の選出方法について「36協定の適正化については協定締結時に協定当事者の選出方法など確認している、まずは受付段階で定期的なチェック、それに加え、監督、指導時に締結当事者の確認を行っている。問題が認められれば指導している」日本経団連「労使自治を軸とした労働法制に関する提言」の中で、過半数労働組合がない企業の労働者代表の権限強化について「局独自での見解を回答する立場ではない」

この回答に対し、組合側から「現実の過半数労働組合がない企業での労働者代表の選出はでたらめ、労基法の適用除外の権限がこんな会社側の意のままに同意するような労働者代表に与えられたら少数派労働組合の団交権、団結権も労基法も空文化する、これについては絶対反対、意見を上申してもらいたい」と意見を述べました。

解雇の金銭解決について

労働局側の回答は「この制度についても。局独自での見解を回答する立場にない。議論の推移を注視するとともに、要請があったことについては上申する」



この回答に対し、組合側から「解雇の金銭解決について労働側は反対している。兵庫労働局として「独自の見解は控える」と言うが、これをやると労働基準法や労働組合法の根本理念を毀損する。労働契約法16条に解雇権の濫用を禁止するとある。労使紛争は資本主義社会では仕方ない。その労使紛争をお金で解決する。解雇権の濫用。中央が誤ったことをする時には、各労働局が反対意見を上げてもいいのではないかと意見を述べました。

労働局との交渉は重要

労働局側の回答はいかにもお役所仕事で、木で鼻をくくったようなお堅い回答でしたが、労働組合としてこのような行政の態度を改めさせ、労働局、労働基準監督署の本来の業務であるはずの「労働者の権利保護」のための行政を取り戻すために（本来労働組合の力が強ければそんな必要もないのかも知れませんが）労働局との交渉は重要ではないかと考えています。今回の交渉の文字起こしをホームページアップしましたので、興味のある方は是非ご一読下さい。組合員、サポート組合員、「拓」読者のみなさんのご意見をお待ちしております。



第97回中之島メーデーに参加しました

5月1日第97回中之島メーデーに参加しました。

メーデーの歴史



メーデーは1886年5月1日に、1日12～14時間の長時間労働を強いられてきたアメリカの労働者たち35万人が、＜8時間労働＞を求めてストライキに立ち上がった歴史的な日です。2日後には労働者4名が警官に殺害され、労働者隊と警官隊が衝突（ヘイマーケット事件）し、メーデーの歴史は平たんな道ではありませんでした。

5・1メーデーは世界80カ国以上で行われ、大切な労働者の闘いの日でもあり祭典の日でもあります。「8時間は仕事のために、8時間は休息のために、8時間は自由のために」



のスローガンには、労働者の権利と尊厳を守る長い闘いの歴史がしみこんでおり、資本家や政治家達は、いつもここを破壊しようとしてきます。

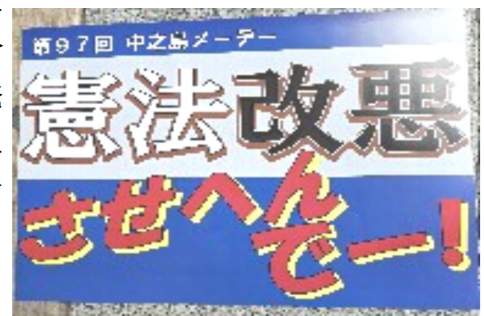
第97回中之島メーデー

第97回中之島メーデーは「生きるために、今、私たちは立ち上がる。」をメインスローガンに、大阪中之島剣先ひろばに450名の仲間が結集し開催されました。

国会で労働者の権利のために頑張ってきた議員や労働者弁護団、厳しい闘いを続ける争議組合の各団体のアピール、そして若者のバンドや川口真由美さんのカー杯の歌など、元気一杯でした。”Rookies”という新しい取組みも披露されました。（左下の写真：連帯ユニオン、ゼネラルユニオン、なかまユニオンの若手組合員がアピール）

集会後、西梅田公園までのデモ行進では途中にあるアメリカ領事館前で、現に行われているアメリカ・トランプ政権によるイランへの軍事攻撃、またパレスチナ・ガザ地区へのイスラエル・ネタニヤフ政権による侵略と封鎖に抗議の声を上げました。

戦争情勢や労働者のおかれている困難な状況への危機感に対して、闘う労働者の団結が今ほど、求められている時はないと、参加者の思いが集まったメーデーになったかと思います。デモ終了後の交流会、打ち上げで、お世話になった川口真由美さんとお隣になり、御礼と激励の交歓をしました。また女性組合員の活発な議論に耳を傾けました。



不当家宅搜索に人権擁護委が警告書を執行!

2024年2月に本部組合事務所に（NPO長田の事務所も同居）、兵庫県警による不当な家宅搜索が入った。NPO長田でミニディ担当者であるNさんは、週5日は事務所泊で土・日に、高槻の病院での夜勤や自宅に帰る生活（事実上の単身赴任）であるにもかかわらず、「免状不実記載」（「免許証住所を偽って免許取得した」）なる容疑という。Nさんは間違いなく、高槻の自宅で家族と団欒し、選挙権も行使している。何一つ偽っていない。

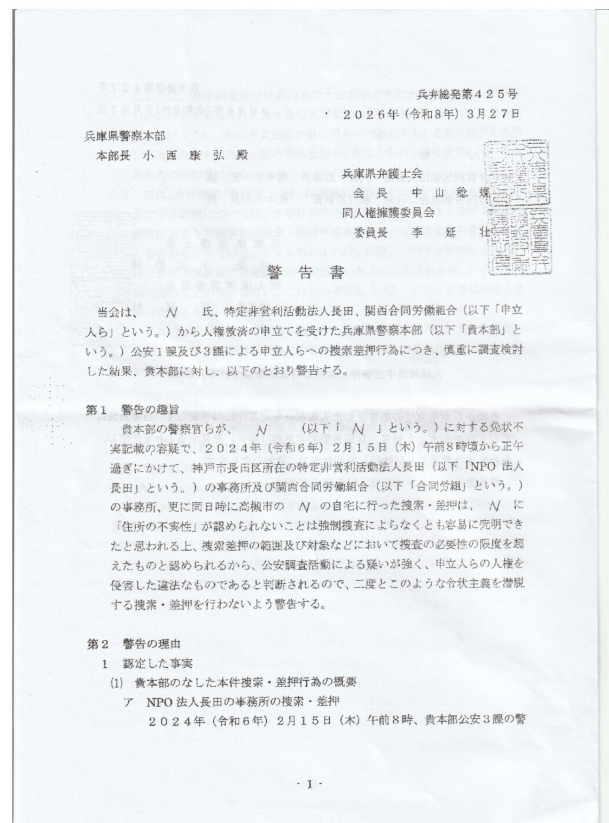
これに対し、組合は、4時間に渡って組合活動を妨害し、人権を侵害した兵庫県警に警告書を発すべく、兵庫弁護士会人権擁護委員会に、人権救済の申し立てを行い、本年3月27日、掲載写真(右上)のような警告書を、同委員会は県警に執行した。

警告書の結論は以下の通り。

「貴本部の本件搜索差押行為は、令状主義を潜脱し、申立人らの人権（N及び合同労組の労働組合活動の自由〔憲法第28条〕、Nの住居の平穏の自由〔同第13条〕、NPO法人長田の結社及び営業の自由〔同第21条、第22条〕）を侵害するものであると判断さ



2024年2月16日兵庫県警が組合事務所を強襲



れる。

本件においては、2005年（H17年）1月21日付のの前期同種事案とは異なって搜索差押にとどまり、逮捕者までは出ていない。しかしながら、前期同時案で当弁護士会から貴本部に対し警告がなされているにもかかわらず、今回もまた同様の不当な搜索、差し押さえが行われたことを踏まえると、本件についても警告処分とすることが相当と考えるものである。」

大河原化工機事件や不動産会社プレサンスコーポレーション社長事件、袴田事件や狭山事件、菊池事件等、そして連帯ユニオン関生支部弾圧など警察・検察による捏造事件は本当に多い。労働組合に結集する仲間は、こういった権力犯罪を監視し、不当弾圧と闘わねばならない。



映画感想：「ノー・アザー・ランド 故郷は他にない」

友人が送ってくれたDVD（ドキュメンタリー映画『ノー・アザー・ランド 故郷は他にない』2024年95分）を見た。年のせいか、鼓動の高鳴りが止まらない。

数々の賞を受賞した名作

ヨルダン川西岸地区のマサーフェル・ヤッタ村に対する武装イスラエル兵やユダヤ人入植者による襲撃・家屋や学校やヤギ小屋や井戸の破壊とのパレスチナ人の闘いを描いたドキュメンタリーである。パレスチナ青年バーセル・アドラーとイスラエル青年のユヴァル・アブラハムの協力と友情を軸に描かれる。とは言えその思いの壁の厚さはあまりの過酷さに時として相互理解を阻まれる。ベルリン国際映画祭最優秀賞他数々の賞を取った映画という。

占領行為に立ち向かう人々の姿

以下はあらすじをコピー。「ヨルダン川西岸で生まれ育ったバーセル・アドラーは、イスラエル軍による占領が進む故郷の様子を幼い頃からカメラに収め、世界へ向けて発信してきた。そんな彼のもとに、自国政府の非人道的な行為に心を痛めるイスラエル人ジャーナリストのユバル・アブラハムが訪ねてくる。同じ思いで行動をともにし、パレスチナ人とイスラエル人

し、彼らが撮影する映像にも痛ましい犠牲者の姿が増えていく。パレスチナ人とイスラエル人による映像作家・活動家が共同で監督を務め、不条理な占領行為とそれに立ち向かう

人々の姿を、当事者だからこそ撮影できる至近距離からの映像で描き出す。」

イスラエル・ネタニヤフに鉄槌を！

ユダヤの友人が入植植民地主義の現実を体を張って世界に訴える行為には、心底敬意を表するが、必ずしも友情が主題ではない。このあまりにも非人間的な行為、ジェノサイドそのものに根源がある。抗議するハールーンが目の前で銃撃され、昔の洞窟で寝ている息子を母が看病する横で、小さな妹がブランコに乗る映像、また過去楽しい家族旅行にバスに乗る村の人々の映像が、奪われた日常がどんなに生命にあふれ、豊かであったことかの対比が、これほどまでに人間が人間を破壊する残酷さにたじろぐしかない。

この現実はこの今も続く。「ネタニヤフの頭上にミサイルを」と心から願わずには居られない。



コラム 〈め（眼）メ（芽）〉 ②5

アメリカで労働組合が注目

■アメリカの革新的労働情報誌レーバーノーツ3月号の記事によると、「アメリカの労働組合の組織率は2024年に初めて10%を切って9%。2025年の統計数字は10%に回復した」と報じている。トランプ二次政権はベネズエラ・イラン侵略戦争とともに、国内では政府機能が停止してまで連邦職員大量解雇、団交拒否、労働協約無視などメチャクチャを行い、組合を極左ともいつている。これは規模は違うが連帯関生支部を「反社」（ヤクザ・工藤会のような）弾圧した手口と同じ。こういう中で、どうやら組合側が反転攻勢に成功して組織率を回復した。以下、記事よりその様子を紹介します。

■デトロイト市での2025年レイバーデーのマーチ(右上の写真)

2025年の労働組合統計が連邦政府により発表された。統計数字によって労働運動の健康状態が示される。労働組合は拡大したか、縮小したか、そしてその地域はどうか？

今回発表された組織率は予想以上に良好な数字。この一年、組合を潰そうとして全面



戦争を仕掛けてきた連邦政府や大企業の攻撃を考えれば、である。

■連邦政府は毎月15,000世帯に対し、家族に組合員がいるかどうかを調査している。

この調査に基づき、2024年と比較すると、463,000人の労働者に新たに労働協約が適用



1940年代のアメリカ労働運動

されたと推定され、2025年の組合員数は約

1,470万人と推計され、労働人口の10%を占め、前年比でわずかに増加した。さらに180万人の非組合員が新たに労働協約の適用を受けている。経済政策研究所の分析によれば、組合員数の増加のほぼ半分は南部で(*)生じている。大量解雇された連邦職員（100万人）はこの攻撃に反撃し、記録的な割合で組合に加入しているが、ほとんどの連邦機関が労働協約を



アメリカ労働組合支持率の推移



認めることを拒否している。

■2025年に一番労働協約適用人数が増えた民間部門は、建設業（84,000人増）と医療産業（78,000人増）である。新たに組織化された組合員も、その雇用が持続しない場合、あるいは建設業組合が未組織の請負業者での組織化を草の根レベルで継続的に苦戦する場合には、組合を離れてしまう可能性がある。医療分野の組合員数は増加したが、同分野の組合組織化率は約8%で横ばいだった。医療は昨年最も雇用が急増した分野で、50万人の労働者が増加した。組合員数の最大の減少は物流・製造業組合で発生した。運輸・倉庫業では雇用は20万人増えたが、労働協約適用労働者は10万人減少した。反組合のアマゾンや他の運送業者が、米郵政公社（USPS）やUPSから配送業務を次々と奪っており、両社では一時解雇や事業閉鎖が吹き荒れている。

トランプ演説の写真撮影用に頻繁に利用される鉱業・採掘労働者はさらに酷い扱いを受け、51,000人の雇用が失われ、組織率も急落し、わずか1年で組合員数が3分の1減少した。

■トランプは今年、メディケイド（低所得者向け医療保険）、フードスタンプ（食料支援）、公共交通機関、その他の公共プログラムに対する連邦支援が大幅に削減されることで、各州は壊滅的な財政赤字に直面することになる。その結果、州および地方

自治体の事業は削減され、担当している職員の削減を確実に招くだろう。こうした、深刻な攻撃にもかかわらず、組合員数が絶対数で増加し、組織率もほぼ維持された事実は、わずかながら希望を見出すに足る。より多くの労働者が反撃のために組合に加わったのだ。組合員総数はほぼ10年ぶりの高水準となった。この数字を経営側に対する力に変えるのは、我々の責任である。

■だいぶ省略したが以上のような報告である。厳しい二次トランプ政権内外の攻撃と闘うアメリカ労働組合のすがたを感じる。トランプのアメリカ、われわれの想像をこえるムチャクチャな解雇・差別・貧困・格差がさらに増していく、全米50州で大デモが続いている。（左上）労働組合組織率も増えている。われわれも厳しい状況であるが、労働組合にと相談は相次いでいる、それを地域で「労働組合をつくろうよ！見えるようにしようよ」の組織化つなげていこう。

（＊）米国労働運動の現状についてについてはレーバーノートには、「ゼネストはもはや荒唐無稽な話ではない」2026年1月4日。「AIに対抗して、週4日32時間労働制を要求」2026年4月1日。「ミネソタ州ツインシティーでICE抗議の大ストライキ」2026年2月2日。



といった記事がランクされている、それだけでも雰囲気わかる。

執行委員 宮崎 庸人

当面のスケジュール

- ・6月1日（月）
第3回本部執行委員会
18時 西宮市立勤労会館
- ・6月5日（金）
連帯ユニオン関生支部弾圧・京都事件検察庁抗議スタンディング
12時～13時 大阪 検察庁前
- ・6月7日（日）
第29回統一マダン神戸
11時～16時 キャナルタウン広場(JR兵庫駅南側)

原発のない明日を！全国集会inおおさか
13時 うつぼ公園

部落解放同盟全国連合会第35回全国大会
13時 荒本人権文化センター
- ・6月10日（水）
おおさかユニオンネットワーク運営委員会
15時 大阪教育合同事務所
- ・6月19日（金）
オプティカルハイテック労働組合支援・日東電工株主総会
9時 日東電工本社前
- ・6月20日（土）
連帯ユニオン人権部主催 第10回人権問題シンポジウム
18時30分 エルおおさか南館大ホール
- ・6月21日（日）
連帯ユニオン関生支部支援 神戸昌栄・双葉闘争
10時 神戸・みなとのもり公園
- ・6月26日（金）
オプティカルハイテック労働組合第2次大阪府労働委員会調査
15時 大阪府労働委員会(エルおおさか)
- ・7月6日（月）
第4回本部執行委員会



編集後記

▼今回の編集作業において、またもや重大なミスをやらかしました。本来4月発行予定で作業を行っていたのですが、途中でファイルが壊れてしまい（容量オーバー）このため発行が5月下旬までずれ込んでしまいました。「拓」読者のみなさんにご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

▼新緑の季節からもうすぐ雨の季節に変わ

ります。ジメジメとしてうっとうしい日々が続くと思われますが、これを吹き飛ばす勢いで夏季一時金闘争、弾圧との闘い、イラン反戦など闘争課題に取り組む決意です。

訂正とお詫び

前号(142号)の3頁左側、衆院選での自民党の議席数「352」は「316」の誤り、「自民党の得票率」とあるのは「自民党の比例代表での得票率」の誤り、「86.2%もの議席」とあるのは、「与党合わせて75%以上もの議席」の誤りでした。お詫びして訂正します。